

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[コンテンツ スイッチの設定](#)

[サービスの設定](#)

[コンテンツ ルールの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、拡張バランス Cookie コンテンツ ルール機能の使用方法について説明します。拡張バランス Cookie を使用すると、コンテンツ サービス スイッチ (CSS) は実サーバから送信された Cookie に基づいてロード バランシングを決定することができます。ただし、事前に Cookie に含まれている情報の種類がわかっている場合は、この情報を使用して、CSS にロード バランシングの決定方法を指示できます。

注CSS はサーバからのクッキーを学ぶことができないし同じサーバにこのクッキーを含む各要求をスタックします。

はじめに

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

前提条件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco WebNS ソフトウェアリリース 3.0 およびそれ以降を実行するすべての Cisco CSS 11000 および 11500 シリーズ CSS に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメント内で使用されているデバイスはすべて、クリアな設定 (デフォルト) から作業を始めています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

コンテンツ スイッチの設定

CSS 11000 および 11500 を設定した場合、サーバ クッキー ストリングを必要とするかどうか最初に判別して下さい。 デフォルト設定であるコンテンツルールの下のストリング操作が **match-service-cookie** である場合、このパラメータは設定する必要があります。 この場合サービス クッキー ストリングはロード バランシング デシジョンのための HTTP ヘッダに含まれているクッキーと一致します。

コンテンツルールの下のストリング操作がハッシュ方式に設定される場合、このパラメータは必要ではありません。 利用可能なサーバの 1 つを選択するために、HTTP ヘッダに含まれているクッキーはハッシュアルゴリズムを使用して数学的に処理されます。 もし可能であれば、ハッシュアルゴリズム **assigna** ある特定のクッキーを運ぶ同じサーバへの接続。 この例は **match-service-cookie** 例に焦点を合わせます。

注クッキーでは、大文字と小文字が区別されます。

サービスの設定

```
training4(config)# service server_gtraining4(config-service[server_g])# string LV2KJK (the server cookie text)training4(config)# service server_htraining4(config-service[server_h])# string AARIKA
```

コンテンツ ルールの設定

注クッキーにはレイヤ 5 のルールが必要です。 URL の追加によってレイヤ5 ルールを作成できます。 たとえば、`<url "*" >`。 レイヤ4 ルールはレイヤ5 ルールに **advanced-balance cookies** コマンドの発行によって促進することができます。

1. 拡張バラン方式を選択します。 `training4(config-owner-content[cookie-layer5])# advanced-balance cookies`
2. 文字列操作を設定します。 `training4(config-owner-content[cookie-layer5])# string operation ?match-service-cookie (DEFAULT)hash-crc32hash-xorhash-a`
3. 開始/終了バイトを定義します。 `training4(config-owner-content[cookie-layer5])# string range 1 to 200 Start byte position of cookie/url after header (Range:1-600)`
4. 文字列範囲内のプレフィクスを指定します。 `training4(config-owner-content[cookie-layer5])# string prefix "ASPSESSION"<quoted text>"Quoted textual information"(Len: 0-32)`
5. 開始プレフィクスの後、何バイトスキップするかを明示します。 `training4(config-owner-content[cookie-layer5])# string skip-length 9<quoted text>"Quoted textual information"(Len: 0-32)`
6. `prefix/skip-length` の後で、何バイトが文字列を構成するかを明示します。 `training4(config-owner-content[cookie-layer5])# string process-length 6<integer>Integer value(Range: 0-64)`
7. ストリング プロセス 長さが設定されない場合、ストリング 文字の端の後で検索して下さい。
。 `training4(config-owner-content[cookie-layer5])# string eos-char "&"<quoted text>"Quoted textual information"(Len: 0-5)`
8. サーバがダウン状態やサスペンド状態になった場合のフェールオーバーを指定します。
`training4(config-owner-content[cookie-layer5])# sticky-serverdown-failoversticky-srcipsticky-srcip-dstportsticky-srcipbalance (Default)redirectreject`

いくつかのパラメータがどのようににはたらくかクッキー ストリングの例は、下記にあり。

```
training4(config-owner-content[cookie-layer5])# sticky-serverdown-failoversticky-srcipsticky-  
srcip-dstportsticky-srcipbalance (Default)redirectreject
```

クッキー ストリングのための設定 例は下記にあります。

```
training4(config-owner-content[cookie-layer5])# sticky-serverdown-failoversticky-srcipsticky-  
srcip-dstportsticky-srcipbalance (Default)redirectreject
```

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [コンテンツ ネットワーキング ダウンロード \(登録ユーザ専用\)](#)
- [コンテンツ ネットワーキング デバイス ハードウェアに関するサポート \(英語\)](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)